



ご報告:パキスタン・イスラム共和国(カラチ市) 消防車寄贈事業

平成27年度在カラチ日本国総領事館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、同国カラチ市へ日本の自治体より無償譲渡いただいた消防車2台を寄贈いたしました。

車両の現地到着後2016年10月、消防車メーカーである(株)モリタのグループ会社(株)モリタテクノスよりエンジニア1名を派遣いただき、寄贈車両の安全操作とメンテナンスに関する技術指導研修を行いました。

<現地写真>

<p>1</p>	<p><はしご車の取扱い></p> <p>梯上放水</p> <p>ホースの媒介金具を改造し、現地で使用されている水槽付車両から送水した。</p> <p>講習は運用責任者に対して行われ、各隊員へと伝えながら実習を行った。</p>	
<p>2</p>	<p><はしご車の取扱い></p> <p>はしご車の安全な取り扱い方法を説明</p> <p>研修にはターシーン・シディキ消防長(右から2番目)も加わり、英訳した説明について、パキスタンの国語であるウルドゥー語での確認も行われた。</p>	

<p>3</p>	<p>〈はしご車の取扱い〉</p> <p>バスケットの基本操作、構造を説明</p> <p>高野氏(左端)は安全に配慮した指導を強調した。</p>	
<p>4</p>	<p>〈救助工作車の取扱い〉</p> <p>(株)モリタテクノス 高野 聡氏(左端)より救助工作車の基本的な取り扱い方法を説明</p>	
<p>5</p>	<p>〈救助工作車の取扱い〉</p> <p>高野氏(車両手前)よりクレーンの操作方法を説明</p> <p>積載資機材の内容に加え、投光器やウインチなども一通り指導した。</p>	

<p>6</p> <p><引渡式></p> <p>10月27日、カラチ市役所の敷地にて引渡式</p> <p>主な出席者はアーシャッド・アブドゥラ・ヴォラ副市長、在カラチ日本総領事館 進藤康治首席領事、(一社)日本外交協会 寺田恭子事務局長、消防長、カラチ市幹部、経済界関係者など。</p> <p>進藤首席領事は、「寄贈車両がカラチ市で末長く運用され、より多くの人を救って欲しい」と述べた。</p>		
<p>7</p> <p><引渡式></p> <p>テープカットを行う進藤首席領事(中央右)とアーシャッド・ヴォラ副市長(同左)</p>		
<p>8</p> <p><引渡式></p> <p>デモンストレーションを兼ねて、はしご車のバスケット内で両国の国旗を掲げるターシーン・シディキ消防長(左)と高野氏(右)</p> <p>会場には市内全 22ヶ所の消防署長ほか、民間救急団体や財界関係者らも多く集まった。</p>		

<p>9</p>	<p><引渡式></p> <p>地元メディアの取材を受ける高野氏(中央)と寺田事務局長(右)</p>	
<p>10</p>	<p><修了式></p> <p>カラチ市消防本部における研修修了式にて</p> <p>カラチ市市民サービス局マストッド・アラム局(左端)立会いの下、指導員の高野氏より参加者一人一人へ修了証が手渡された。</p>	
<p>11</p>	<p><修了式></p> <p>研修関係者と記念撮影</p> <p>ターシーン・シディキ消防長(中央)へ記念品を渡す寺田事務局長、その中央に高野氏。</p> <p>消防本部敷地内に住む隊員家族らも参列した。</p>	